

第 5 回不動産分野の社会的課題に対応する ESG投資促進検討会

第 4 回検討会の振り返り

令和 4 年 3 月 16 日

第4回検討会の振り返り

議題

主な意見（詳細は参考資料3を参照）

① 評価項目等の整理方針について
（「持続可能な社会の実現段階
と社会課題」について）

- 第2段階の「ウェルビーイング」は高次なレベルで受け止められる言葉なので、第2段階に位置することに違和感がある。
- 第4段階の「発展・継承」は何を発展・継承するのか不明確なため、再考する方が良いのではないか。
- 緑色は環境のイメージなので、別の色にすべきではないか。

② 評価項目等整理表（素案）について

- 子育て支援の項目を拡充すべき。
- 在宅勤務をしやすい住宅という観点を入れる方が良いのではないか。
- ひとり親世帯や独居高齢者、引きこもりの人等の外出を促すような施設やプログラムについて盛り込めれば良い。
- 「手頃で良質な住居の提供」はアフォーダブル住宅をイメージするので、SDGsゴールの「貧困をなくそう」や「人や国の不平等をなくそう」に関する取組、すなわち評価分野は「人権への配慮」や「多様性、包摂性の推進」ではないか。
- まちづくりの観点に地域独自の課題への対応が加味できれば良い。
- 防災等の観点で電柱地中化は重要。また、地方において都市ガス化への移行期間としてプロパンガスの集中化といった取組が考えられるところ、このようなまちづくりにおいては抜け落ちがちな項目を加味できれば良い。
- 「地域経済の活性化」はCASBEEやWELLにはない評価項目なので、この点については今後も議論を深めていくべき。

③ 中間とりまとめ（素案）について

- 「はじめに」の中でインパクト評価、インパクト投資の必要性について追記すべき。
- 「ESGの成り立ち」について、SDGsの採択によりポジティブ・インパクト・ファイナンス等の概念が出てきた旨等、修正すべき。